

◇次週礼拝◇

説教 女性の弟子たちの働き
中沢 譲牧師
聖書 新約 フィリピ 4:1-3
讃美歌 57 441 65-2 88
交読詩編 46:9-12

◇次週子どもの教会礼拝◇

説教 キプロスで
T.S
聖書 使徒言行録 13:4-12

◇本日の集会◇

子どもの教会リーダー会

◇今週の集会◇

新約に親しむ会
20日(木) 午前10時
マルコ 1:9-11

◇ようこそ教会へ◇

初めて教会に来られた方、学校の紹介で来られた方、歓迎します。

◇新型コロナウイルス予防対策◇

7月役員会で、コロナ感染の再拡大の状況について検討し、8月は、礼拝のプログラム短縮は継続しますが、短い後奏を加えることにしました。

また、月初めの聖餐式も行います。
*来会されたら、まず入口で手指の消毒をお願いします。礼拝中も、マスク着用をお願いします。

*なるべく間隔をあけてお座りください。

*礼拝中は、会堂側面の窓を細く開け、天井の換気扇で換気します。

*発熱や咳など体調不良の方、ご家族に症状のある方は、来会を控え、ご自宅での礼拝をお願いします。

*子どもの教会は、短縮礼拝を継続しますが分級は行います。

◇報告とお願い◇

週報、役員会報告、会計報告などの印刷物は、毎月第四主日に会員に発送します(7月は23日の郵送を予定)。また、主日礼拝の「説教プリント」を作成しています。週報のメール配信と共に説教も配信します(配信希望者はHP担当まで)。「説教プリント」は、希望者に郵送もできます(希望者は牧師まで)。YouTubeでの礼拝限定配信の希望者は、中沢譲牧師のメールアドレスにご連絡ください。

◇今週の誕生者◇

M.Hさん

◇集会状況◇

集会	日	出席
CC 子ども	9	0
おとな	9	10
成人クラス	9	3
主日礼拝	9	51

◇牧師室より◇

古い話で恐縮だが、高校生に「生物」の授業をしていたころ、一年の最初に、教科書の目次の、単元の並び順について考える授業をしていた。当時、多くの教科書では、1章で細胞のしくみを学び、次章から、呼吸や光合成などの生体内化学反応、次に遺伝子の構造や機能など分子生物学の初歩へと進むのが教科書前半の流れであった。後半では、動植物の体の組織・器官の仕組みから個体レベルの恒常性、そして遺伝学など種の単位での仕組み、さらに進化や生態系について、というような順で学ぶ。直感的な表現で言えば、前半で、生物をだんだん細部へと目を近づけて眺め、後半で、だんだん視野を広

げて地球上の生物全体を把握する方向へ向かうというような規則性が学びの仕方として示されている。そのことに、ディスカッションを通して気づくという内容の授業だった。何かを観察し、推論して理解する時に、どのスケールで取り組むのか、という意識を明確に持つことの重要性や、当時の生物学のトレンド(流行)が、細胞単位で生物を捉えることにあると知ることも授業目標だった。

今年、映画『教育と愛国』を観てびっくりしたのは、愛国教育に熱心なある歴史学の大家が、歴史の学習に考えることは必要ない、正しい歴史認識を身に着けるだけで十分だ、と持論を述べておられたことだ。この対局にあったのが、戦争責任や人権問題に取り組むことを大切にしている教師たちの活動だ。『ともに学ぶ人間の歴史』(発行:学び舎)という中学社会の教科書が紹介されており、興味を持ったので入手した。学びの中で「問いを生み出す」ことの大切さが教科書の構成にも見て取れる。

8月の平和聖日学習会で、国語教科書が取り上げられる。今からとても楽しみだ。(中沢麻貴)